学校番号	3015

令和３年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現	3	第３学年	啓林館「Vision Quest English Expression II　Hope」 いいずな書店「英文法・語法問題８００」・「英文法・語法問題 Vintage 3rd Edition」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語表現の授業では主に文法とリスニングを中心に学習していきます。入試頻出問題を解き、入試攻略に必要な基礎力と実践力を同時に養成していきます。英文法・語法スタディポイントも使いながら、整理して覚え、繰り返し学習し、着実に英語力をつけていきましょう。リスニング力は、読解力と同じように、単語力や文法・語法力によって支えられています。聞くことに慣れるためにも、たとえ時間は短くても、毎日集中して英語の音声を聞くようにしましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「英語表現」（３単位）及び「英語理解」（３単位）他選択科目「実践英語」「科学科英語」「ACTⅢ」

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
◆自分のことや身の回りのことについて簡単な紹介や説明を求められても、即興で適切に応答することができる。 ◆◇簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。	英語理解 ACT Ⅲ	◇◆身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ◇◆身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。	英語理解 英語表現 実践英語 科学科英語 ACT Ⅲ	◇趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。 ◇ダンスや物の制作など一連の行動の手順について、ゆっくりはっきりと指示されればそのとおり行うことができる。	英語理解 ACT Ⅲ	◇300 語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。 ◇簡単なマニュアルや手引き書などを理解し、その内容に沿って行動（ゲームや工作など）することができる。	英語理解 英語表現 実践英語 科学科英語 ACT Ⅲ

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価規準	①うまく表現できないことがあっても、既知の語句や本文中の表現を用いるなどして話している。 ②理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして、読み続けている。 ③読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。	①与えられた条件に合わせて、即興で話している。 ②伝えたい内容を整理して論理的に話している。 ③主題を決め、様々な種類の文章を書いている。	①語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。 ②聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、結論をまとめている。	①英語の仕組み，使われていることばの意味や働きなどを理解するとともに，言語の背景にある文化を理解している。
実施方法	(a) 授業中の発言・貢献度などを総合的に評価 (b) ペアワーク及びグループワーク (c) 提出物	(a)授業内発言の取り組み（観察） (b)英作文添削（原稿提出） (c) １～２分間スピーチ	(a)授業内発言の取り組み（観察） (b)ボキャブラリーテスト（小テスト） (c)定期考査 (d)ペアワークやグループワークなどにおける理解度 (e) １～２分間スピーチにおける理解度	(a)定期考査 (b)各アクティビティ後の自己内省
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
1-2 章 (5 時間)	時制・受動態	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話や再話の際に、基本時制、受動態の表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	②	(a) (b)
		「英語表現の能力」			
		・時制、受動態の表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・時制、受動態の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・時制、受動態の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・日本語と英語の時制の違いを理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・基本時制、態の違いを理解することができる。	・日本語と英語の時制の違いや受動態の働き方を学ぶ。	①	(a) (b)
3-5 章 (5 時間)	助動詞・仮定法・不定詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話や再話の際に、助動詞、仮定法、不定詞の表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・助動詞、仮定法、不定詞の表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・助動詞、仮定法、不定詞の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・助動詞、仮定法、不定詞の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・助動詞、仮定法、不定詞の用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞、仮定法、不定詞の用法を理解することができる。	・助動詞、仮定法、不定詞の用法を学ぶ。	①	(a) (b)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
6-8 章 (5 時間)	動名詞・分詞・準動詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話や再話の際に、動名詞・分詞の表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・動名詞・分詞の表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・動名詞・分詞の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・動名詞・分詞の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・動名詞・分詞・動詞の語法の表現を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動名詞・分詞を理解することができる。	・動名詞・分詞の復習をし、名詞との違いを理解したうえで動名詞を含んだ表現を学ぶ。	①	(a) (b)
9･14 章 (5 時間)	動詞の語法 動詞のイディオム	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・動詞の語法を復習し、イディオムを確認した上で、それらを含んだ表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・動詞の語法とイディオムの表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・動詞の語法とイディオムの表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・動詞の語法とイディオムの表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・動詞の語法とイディオムの用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動詞の語法とイディオムを理解することができる。	・動詞の語法を復習し、イディオムを確認した上で、それらを含んだ表現を学ぶ。	①	(a) (b)
10・19 章 (4 時間)	関係詞・接続詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・関係詞、接続詞を含んだ構文を理解し、その表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・関係詞、接続詞を含んだ構文の表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・関係詞、接続詞の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・関係詞、接続詞の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			

		・他人のスピーチを理解する。	・関係詞、接続詞を含んだ構文の用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係詞、接続詞を含んだ構文の用法を理解することができる。	・関係詞、接続詞を含んだ構文の表現を学ぶ。	①	(a) (b)
18・20章 （４時間）	前置詞・形容詞の語法・イディオム	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・前置詞と形容詞を含んだ構文を理解し、その表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・前置詞と形容詞を含んだ構文の表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・前置詞と形容詞を含んだ構文の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・前置詞と形容詞を含んだ構文の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・前置詞と形容詞を含んだ構文の用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・前置詞と形容詞を含んだ構文の用法を理解することができる。	・前置詞と形容詞を含んだ構文の表現を学ぶ。	①	(a) (b)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
11 章 (4 時間)	比較	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・比較の用法を理解し、その表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・比較構文の表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・比較構文の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・比較構文の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・比較構文の用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較構文の用法を理解することができる。	・比較構文の表現を学ぶ。	①	(a) (b)
21 章 (4 時間)	副詞の語法・イディオム	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・副詞を含んだイディオムの表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・副詞を含んだイディオムの表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・副詞を含んだイディオムの表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・副詞を含んだイディオムの表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・副詞を含んだイディオムの用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・副詞を含んだイディオムを復習し、それらの用法を理解することができる。	・副詞を含んだイディオムの表現を学ぶ。	①	(a) (b)
15・16 章 (4 時間)	代名詞・名詞イディオム等	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・代名詞や名詞を含んだイディオムの表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・代名詞や名詞を含んだイディオムの表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・代名詞や名詞を含んだイディオムの表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・代名詞や名詞を含んだイディオムの表現を用いて、５行以	① ② ③	(a) (b) (c)

			上の英文を書く。		
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・代名詞や名詞を含んだイディオムの用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・代名詞や名詞を含んだイディオムを復習し、それらの用法を理解することができる。	・代名詞や名詞を含んだイディオムの表現を学ぶ。	①	(a) (b)
12･17 章 (5 時間)	主語と述語動詞の一致・疑問文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・動詞の用法を再確認した上で、疑問文の表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・動詞の用法を再確認した上で、疑問文の表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・動詞の用法を再確認した上で、疑問文の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・動詞の用法を再確認した上で、疑問文の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・動詞の用法を再確認した上で、疑問文の用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動詞の用法を再確認した上で、疑問文を含む英文の用法を理解することができる。	・動詞の用法を再確認した上で、疑問文の表現を学ぶ。	①	(a) (b)
13・22 章 (5 時間)	否定・倒置・省略・強調・会話表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・否定の表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・否定の意味を含む英文や強調、倒置、省略構文の用法を使って書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・否定の意味を含む英文や強調、倒置、省略構文の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・否定の意味を含む英文や強調、倒置、省略構文の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・否定の意味を含む英文や強調、倒置、省略構文の用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・否定の意味を含む英文や強調、倒置、省略構文の用法を理解することができる。	・否定の意味を含む英文や強調、倒置、省略構文の表現を学ぶ。	①	(a) (b)